

## ディプロマポリシー

<p><b>&lt;音楽学部&gt;</b>          下記の資質・能力を修得し、それらを総合的に活用できる人に学位（学士）を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 音楽、文化、社会に対して、さまざまな角度から関心を持ち、生涯にわたって、自主的、自律的に学修することができる。（学びに向かう力、人間性）（生涯学習）</li> <li>2 音楽、文化、社会についての幅広い知識を身につけている。（知識）</li> <li>3 音楽を通してものごとを多様な観点からとらえ、課題についてさまざまな角度から考察し、適切な判断をすることができる。（思考・判断）</li> <li>4 音楽の実践的スキルを身につけ個性豊かな表現や独創的な創作ができる。（技能）</li> <li>5 音楽に関する研究や調査の結果を、文章や創作物、演奏という形で表現できる。（表現）</li> <li>6 大学で学んだことをもとに、地域社会の音楽文化の発展や福祉の進展に寄与する態度をもつ。（社会参加の意識）</li> </ol>	
<p><b>&lt;音楽学科&gt;</b>          ・音楽及び演奏、創作、音楽教育、音楽療法、音楽文化に関する確かな知識と技能・態度を備えている。          ・自らの専門とする分野において感性豊かな表現ができ、さらに理解力・コミュニケーション力を備えている。          ・音楽について主体的に学び続け、生涯にわたって自己の成長と音楽の美しさを追求できる能力と態度を備えている。</p>	<p><b>&lt;こども学科&gt;</b>          ・こどもの成長・発達を正しく理解し、指導や援助ができる技能・態度を備えている。          ・音楽を基盤とした豊かな表現力、コミュニケーション力を備えている。          ・こどもを取り巻く社会や福祉に関心をもち、積極的に社会貢献をしようとする意欲を備えている。</p>

## カリキュラムポリシー

<p><b>&lt;音楽学部&gt;</b>          卒業の認定に関する方針に掲げる資質・能力を育成するために、下記の方針に従って、教育課程を編成・実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「基礎科目」「展開科目」「発展・応用科目」の3種類の科目群を配置する。</li> <li>2 専門実技科目や教養科目の他に「教職に関する科目」「音楽療法に関する科目」「保育士養成に関する科目」を配置する。</li> <li>3 演奏会、発表会および社会貢献活動などを自主的、主体的に計画・運営する機会を多く設ける。</li> </ol>	
<p><b>&lt;音楽学科&gt;</b>          ・「基礎科目群」「展開科目群」「発展・応用科目群」において少人数制による一人ひとりに応じた指導が行えるような内容編成をします。          ・幅広い専門知識や高い技術や豊かな感性を身につけることができるように、実際のステージや現場での演奏・演習・実習を重視したカリキュラムを編成します。          ・教育支援活動や派遣演奏などのボランティア活動を積極的に取り入れています。</p>	<p><b>&lt;こども学科&gt;</b>          ・保育領域、教育領域、音楽領域及び実習において、個に応じたきめ細やかな指導が行えるような内容編成をします。          ・音楽の専門性を高めるために、音楽学科との合同授業を含めたカリキュラムを編成します。また、企画・立案・運営の力を養うために、種ステージや演奏会の機会を多く設けます。          ・音楽の力を生かし、社会貢献の意識を高めるために、保育現場などでの多様な活動の場を設けます。</p>

## アドミッションポリシー

<p><b>&lt;音楽学部&gt;</b>                  以下のような人を入学者として受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 音楽を愛好し、社会における音楽の必要性や重要性を理解している人</li> <li>2 自らの意志で行動し、自主的・自律的に学修することに意欲のある人</li> <li>3 高等学校までの学習課程で、身につけなければならない基本的な知識・技能を身につけている人</li> <li>4 大学での学修を通して、専門的な知識・技能、高度な思考力・表現力を修得することに意欲のある人</li> </ol>	
<p><b>&lt;音楽学科&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の専門的な理解を深め、演奏技術を磨くことに意欲のある人</li> <li>・音楽の楽しさを多くの人に伝え、福祉や教育の現場で活用したいと思っている人</li> <li>・音楽活動を通して、地域文化の創造に貢献することに意欲のある人</li> </ul>	<p><b>&lt;こども学科&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高い保育力（専門知識・技術）を身につけることに意欲のある人</li> <li>・保育の仕事の重要性と責任の重さを理解している人</li> <li>・こどもの音楽文化を探究し、音楽の楽しさを伝えることに興味や意欲のある人</li> </ul>

### 授業心得

- 時間を守る  
 授業に遅れない。学びの準備を整えて、授業に臨みましょう。レポートや書類等の提出物は、指定された期限や方法を厳守しましょう。
- 挨拶  
 始業時は「挨拶」をすることが基本です。大きい声で、はっきりと挨拶をします。特にレッスンを受けるときは、「お願いします」「有難うございました」と挨拶をします。
- 身だしなみ  
 大学は学ぶ場です。場に相応しい身だしなみとマナー・姿勢に気を付けましょう。正しい姿勢は健康な心と体づくりにも必要です。授業に集中して取り組めるように、日常の健康管理に留意し、生活リズムを整えます。授業中の姿勢から整えていくようにしましょう。
- 私語を慎む  
 授業は、学びの時間です。関係のないおしゃべりは慎みましょう。私語をしている間に大事な学びを逃してしまうこともあります。
- 机上进行整理する  
 スマートフォンやバッグなど授業に必要な物以外は、机の上に置きません。特にスマートフォンや携帯電話は、授業担当者の許可なく授業中に使用しないようにしましょう。
- 積極的に発言をする  
 自分の意見や考えは、進んで発言するなど、積極的に授業に参加しましょう。社会人は、そのことが求められるため、学生時代にできるようになっておくことが大切です。また、発言を求められたら、他の人に伝わる声の大きさを話しましょう。
- 出席  
 教職に関する科目・保育士取得に関する科目・音楽療法士資格取得に関する科目の出席は、5分の4以上、その他の科目は3分の2以上の出席であることが履修の条件です。
- 連絡  
 病気等でレッスンや授業を欠席する場合は、レッスン担当の先生・担任の先生・学生課に必ず連絡するようにしましょう。